



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 3033 番
3034 番
編集人 古賀 徳 継
発行人 古賀 徳 継
年間600円 送料共

おねがい
組合員・家族の皆さん、どうか本誌にいろいろな意見や要望を寄せてください。機関紙「みいけ」をもっともっとみんなのものにしてゆきましょう。

第四次合理化へツヨ私

職組、新労組幹部の「組織拡大」

三池新労組は、職組と「共闘会」なるものを結成し「組織拡大運動」と名づけた脱産脱賃活動をはじめた。

次合理化反対闘いの準備をするものでも対峙する。

そのウラには、第四次合理化強行がねらわれている。(二面に続)

賃上げは中労委へ

スト態勢はつづける

炭鉱国有化、一方四百円の賃上げを要求して闘いつづけている「国有化奮闘」は第二波の四十八時間ストライキを四月十五日夜ひとまず中止し、四月十八日からの第三波四十八時間ストライキは延期した。

炭鉱国有化、一方四百円の賃上げを要求して闘いつづけている「国有化奮闘」は第二波の四十八時間ストライキを四月十五日夜ひとまず中止し、四月十八日からの第三波四十八時間ストライキは延期した。

の内容を石炭炭業審議会の議題にのぞき、前向きで議論することを確認させた。

以上の回答は明らかに国有化要求にもとづく石炭政策のための足がかりをつかみ得たこと、さらに賃金問題では資本側を中労委の場へ引きだすことができたこと、などを示したわけだ。このため今後のストライキ中止指令となつたわけである。

閉山、縮少は停止
「国有化要求」の一つの指標である「生産縮少と閉山」の問題については、炭労の主張(現在稼働中の炭鉱の閉山、縮少を停止する)通りみとめさせた。

「国有化要求」の一つの指標である「生産縮少と閉山」の問題については、炭労の主張(現在稼働中の炭鉱の閉山、縮少を停止する)通りみとめさせた。

「国有化要求」の一つの指標である「生産縮少と閉山」の問題については、炭労の主張(現在稼働中の炭鉱の閉山、縮少を停止する)通りみとめさせた。

「国有化要求」の一つの指標である「生産縮少と閉山」の問題については、炭労の主張(現在稼働中の炭鉱の閉山、縮少を停止する)通りみとめさせた。

連帯は国境越えて

ソ連婦人代表来組

大牟田で地区の国際婦人デーの記念集会が開かれた十四日、ソ連から三人の婦人代表が三池をたずねてくれた。

社会党が招いた人々で、ボイコトウ・アンナ・ペトロフナさん(レニングラード副市長、ボボフキナ・リッタ・アレキサンドロナさん(科学アカデミー・アジアル研究所の歴史学者)、ロマニウ・ウイラ・ワシリーエフ



三池労組本部で交流するソ連婦人代表団

「抱不十分だ」として、災害責任者である当時の社長栗木幹郎を不起訴にしようとしたことや、組合推薦医師が明らかにまだ治っていないとするCO患者を、政府やそのお抱え医師が組合生利病などのラジカルを押しつけては「すでに治っている」として、その補償や治療を打ち切ったりしてきた事実の報告に対しては、そのたびに首をかしげ何回も問い返すのだった。

「すでに階級対立がなくなっている社会主義国の人々にとっては、資本主義制度のもつ矛盾が、そのようなあり得ない現実をささ生み出していることは、なるほど理解しにくいことに相違ない。」「たとえどんな病気をしても完全な国家の保障のもとに、何の心配もなく療養生活がとれる社会主義社会を、一日も早くつくらなければならぬぞ。」「この日の交流に参加したすべての人々の胸をつらぬく思いはこれだった。

代表たちは「三池の非情な実情と闘いの一部始終は、必ずソビエトの全婦人に伝え、そしてできるだけの援助をいたしたいと思ひます」と、別れを惜しみ惜しみ組合本部を後にしていったが、国境を越えてやさしく差しつけられた温かい連帯に、いつもはとくどく暗い思いでとざされてくるCO患者の家族たちの表情も、この日はかなり明るく輝いていた。

たたかいの日として

—メーデーの歴史—

メーデー、一九五四年の「水爆反対メーデー」などをたたき、一九六〇年の安保闘争のなかで迎えた第三十一回メーデーでは全国八十八ヶ所、五百万人が参加して大規模な発展を遂げた。労働者階級の団結、生活と権利擁護、戦争反対を内容に貫いてメーデーがたかわれてきたのです。

戦後のメーデー
敗戦の翌年、解放のよろこびと決意にもえる労働者は官城前の人民広場で五十万人、全国では二百七十五万人が参加してメーデーを復活させた。同年五月十九日には「食糧メーデー」を実施。翌年には「食糧メーデー」を実施。翌年には「食糧メーデー」を実施。

参議院選挙

投票は7月7日に



全国区
阿貝 根 登



全国区
松本 英 一



地方区(福岡)
小 柳 勇



地方区(熊本)
大中 康雄(新)

賃上げ回答状況

(四月十二日現在、労働二ニ一スによる)

日本化薬	五、〇五九円
横濱油脂	五、〇五〇円
徳山ソーダ	五、五〇〇円
【民航労連】	
全日空	六、六九一元
【出版労協】	
光文社	八、〇六七円
平凡社	七、七〇〇円
岩波書店	八、八八二円
大月書店	八、二二三元
【紙労連】	
大昭和製紙	五、〇〇〇円
【全国セメント】	
住友セメント	五、〇〇〇円

日本セメント	五、〇〇〇円
徳山セメント	五、五〇〇円
【全国金属】	
日本電池	六、三〇〇円
山武計器	六、五〇〇円
大同工業	六、〇〇〇円
【電機労連】	
早川電機	五、〇九八円
【全国一般】	
丸二工業	七、七〇〇円
伊勢崎製材	七、五〇〇円
アルス	六、七〇〇円
中央興産	六、六〇〇円
大鉄電機	五、六〇〇円
サントリ	五、一八九円